

増川いづみ

リンダ・タツカー

森下敬一

池田整治

グレゴリー・サリバン

さとううさぶろう

白鳥哲

滝沢泰平

永伊智一

船瀬俊介

森井啓二

引き裂かれた
《いのちのスピリット》たちよ!

unityの
世界に戻って
超えていけ



ヒカルランド

この惑星の重大局面を乗り切るチカラ
存在するのは地球生命すべてが共振共鳴する《たった1つのフィールド》だけ!

基調講演

—— オープニングメッセージ

—— 日本とアフリカをつなぐホワイトライオンの縁えにし

—— リンダ・タツカー

25

—— 太古の叡智が教え示す“命を奪わぬ文化”の未来

—— 増川いづみ

35

—— 人体の《真の仕組み》知らぬ現代医学の悲劇

—— 末梢血液空間理論・ソマチッド・ボンパ血管

—— 森下敬一

53

unityの世界に
戻って
超えていけ
目次

ディスクロージャー・メッセージ Part. 1

21世紀の来るべき大転換！ 操作コントロールから《調律ハーモニー》の医療へ — 船瀬俊介 81

マインドコントロールを超えて

—— “第三の眼”を駆使して5次元へと突破せよ

—— 池田整治 93

《宇宙×縄文》とつながる八ヶ岳 いま大家族の絆を思い出すとき — 滝沢泰平 119

「持続する地球」めざす魂の衣ころもづくり — さとうふうさぶろう 129

● 魂を揺さぶる音 太古の脈動伝える歌声 出演アーティスト一覧 141

銀河と星々とのコンタクト

ファイヤーセレモニー&地球外知的生命体
との接近・遭遇！CEI5コンタクト

CEI5コンタクト
ナビゲーター

グレゴリー・サリバン

157

●いのちを紡ぐことば——ゲストスピーカーカーメッセージ

特定非営利活動法人アニマルライツセンター代表理事 岡田千尋、北杜市議会議員 栗谷真吾

169

ディスクロージャー・メッセージ Part. 2

目いっぱい楽しもう！

銀河のハート「地球パラダイス」に生まれた私たち

はせくらみゆき

179

そろそろ気づいて！肉食がもたらすあらゆる危機

永伊智二

189

知られざる動物たちの危機——人間の娯楽の裏で失われる無垢の命

森井啓二

205

「ライオンハート」を宿す大和の民に託された人類のラストミッション

—— 白鳥 哲

225

ラストメッセージ

—— 増川いづみ
リンダ・タツカー

237

テーマソング「太古の風 聖なるホワイトライオン」(作詞・作曲 千花)

247

【特別対談】奪取と支配の世紀を超えて

—— 調和と奉仕にもとづく

ホワイトライオンリーダーの時代がいま始まる！

—— 増川いづみ
リンダ・タツカー

251

カバー・巻頭デザイン 三瓶可南子
写真 中谷航太郎
校正 麦秋アートセンター
本文仮名書体 文麗仮名(キャップス)

第1部

基調講演

いのちの音

増川いづみ

いのちの音に
耳を傾けたこと
ありますか？

根源の愛のオト
呼び醒まし

風の音
葉のすり合う音
しずくの音

つたえ……つたわり
ひろがっていく

日々の暮らしの中で
大切な いのちのこと
忘れていませんか？

この日 この時 この地で集い
祀りあわせ
祈りあわせ

リンダ・タツカー

オープニングメッセージ

—— 日本とアフリカをつなぐ

ホワイトライオンの縁えにし



リンダ・タッカー

Linda Tucker

アパルトヘイト体制下の南アフリカ生まれ。ケープタウン大学及びケンブリッジ大学に通う。2002年、グローバル・ホワイトライオン保護基金を設立。数々の国際的な環境保護会議で講演を行っている彼女の活動は、ナショナル・ジオグラフィックやCBS制作のドキュメンタリーにもなった。現在彼女は、ティンババティ私設自然保護区に隣接する「ツァウ・ホワイトライオン・ハートランド」と名付けられた原生保護区域に、パートナーでライオン生態学者のジェイソン・ターナーと、彼らが本来の生息域に再導入したホワイトライオンの複数のプライドと共に暮らしている。2017年、リンダ・タッカー基金を新たに設立。近年では「ホワイトライオンハート・リーダーシッププログラム」で次世代のリーダー育成にも取り組んでいる。著書に『ミステリー・オブ・ザ・ホワイトライオン 初めて開示される《ライオンシャーマンの教え》』、『母なる地球スピリットの化身 聖なるホワイトライオン [上] [下]』（いずれもヒカルランド）などがある。

HP：リンダ・タッカー基金：<http://www.lindatuckerfoundation.org/>

増川 2017年のライフチューン・セレブレーション「聖なるホワイトライオン・パート2」の集まりにいらしていただきまして本当にありがとうございます。北から南まで、本当に日本全国から、1泊2日という特殊なセミナーのために、まさかこんなにたくさんの皆さんに来ていただけたとは思ってもみませんでした。本当にありがとうございます。

リンダ こんにちは。ライオンの雄叫びを聞いて、この場に集っていただきまして本当にありがとうございます。前回お見かけした方のお顔も、本日見受けられるようです。皆様はライオンのハートと共鳴し、そして太古の昔からの約束を守るためにこの場にいらしてくださったことと思います。ライオンのメッセージに応えていただき本当にありがとうございます。

増川 非常に集まりにくい山の中、八ヶ岳の緑に囲まれたかつての縄文の地、ここ小淵沢を会場に選んだのは、私たちが今どこへ向かって歩けばいいのか、この混沌とした世の中で、私たちは今、何をよみがえらせればいいのか。私たちが本来持っている美しい心、優しさ、特に命の痛みに気づくときだと思ったからです。

この地で縄文の魂を呼び起こし、それがホワイトライオンのハートとつながり、彼らがアフリカと日本のアイデンティティをつなげてくれると思っております。

ここはいわば集会所、ネイティブ・アメリカンあるいは縄文の人たちとの集会所です。私たちは上も下も、右も左もなく、皆この場で、きょうこのときに皆さんとともに新しい次元のために、新しい人類の意識のために、そして地球のために、新しい扉を開きたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、ホワイトライオンのメッセンジャーであり守り人のリンダ・タッカーさんです。「キーパー・オブ・ザ・ホワイトライオン」というのが彼女のシャーマンの名前です。彼女のハートからのメッセージを18分に凝縮した短編映画『ホワイトライオン〜人類へのラストメッセージ』も、今回のイベントで初めて公開されます。

では、2日間の祀りの始まりに、オープニングメッセージを伝えていただきたいと思えます。どうぞリンダさんに盛大な拍手を。

リンダ 私は自分の人生をホワイトライオンのために捧げてきました。彼らはこの地に平和と光と生命をもたらすために、再びこの地球という場所に戻ってきてくれた存在たちです。私は以前はファッションの世界で仕事をしておりました。パリでファッションモデルをしていたわけですが、ホワイトライオンを救うために、全ての仕事をやめてアフリカに帰還いたしました。

そのきっかけとなったのは、私が1991年に体験したある出来事です。私どもが

アフリカのサバンナで24頭のライオンに囲まれて命を失おうとしていたときに、一人のアフリカの女性が赤ちゃんを背負って、ライオンたちの群れの真ん中を助けて来てくれたのです。

彼女の名前はマリア・コーサ。彼女は、私の人生の目的はホワイトライオンを守ることだ、守護者になることだと私に伝えてくれました。そして、彼女自身が行っていたシャーマンとしての役割を私にも授けて、ホワイトライオンたちの守り人と名づけてくれました。12人のメディスン・マン、メディスン・ウーマンにも紹介してくれて、ホワイトライオンの秘密を伝授してくれたのです。

ホワイトライオンは、日本と非常に深いつながりを持っています。ホワイトライオンを知るたびに、日本とどのような関係があるかを学ぶことは非常に重要なことです。ホワイトライオンたちは、この地球に一番最初にやってきた存在だと言われています。そして、この地にやってくるたびに、神が送った「音」を通じてやってきたのです。彼らはソーラーロゴス（太陽の言葉）、そしてステラロゴス（星の言葉）と呼ばれる言葉に表象されています。

ホワイトライオンたちは氷河期の以前から地球上に存在していました。彼らは非常に深い愛の心を持っていたために、雪をも解かすことができました。そして地球上に、

最初の時代というものを切り拓いたのです。これは伝説のように聞こえるかもしれませんが、全ては事実のお話です。彼らがこの地に生きる命をもたらしたのです。

私の夫は科学者であり、ライオンの生態系及び遺伝子の研究をしております。7カ国で遺伝子の実験と研究を行った結果、ホワイトライオンの遺伝子は最も古いものだということが解明されました。このことから、彼らが最初に存在したライオンだと知られるに至りました。実際には、ホワイトライオンが地球にやってきた時代は明確にはわかっておりません。氷河期以前、そして1万年以上前とも言われております。

さまざまな時代において、いろいろな王朝が失敗をしてきました。それはリーダーシップというものを本当に理解していなかったからです。この地球という場所は神から与えられた場所であるということ、そして本当のリーダーシップは奉仕をもって行うものだということを忘れていたのです。

自然界が示してくれるさまざまな兆候を見ると、人類がこの地球を正しく運営できていないということがわかると思います。海では津波が起こり、大地では地震が起こっています。ですが、ホワイトライオンの伝説によると、彼らはこの地球上のバランスを取り戻すためにやってきたと言われています。彼らは金色のレイラインと言われている道をたどって、皆様に対するメッセージを伝えるためにやってきたのです。こ

の地球上で起こっていることは、決して偶然ではありません。全ての偶然のように思われている出来事には意味と目的があるのです。

彼らはこの地への祝福と同時に、危険信号を与えるためにやってきました。そのメッセージの内容は、本当のリーダーシップのモデルを示すものです。本来のリーダーシップは、愛とハートに基づいたもので、恐怖に基づいたものではないということですね。彼らは神聖なる存在です。そして最も高い秩序のもとに、羽を携^{たずさ}えてこの地に飛んできた存在です。

このような崇高な動物たちが犠牲になっているということとは本当に悲劇的だと感じています。彼らがこの地にやってきた目的もわからずに、人間たちはライオンたちを檻に入れたり、苦しみを与えたりしています。動物園やサーカスにも送っています。南アフリカでは、生まれたてのホワイトライオンの赤ちゃんが檻の中に入れられて、観光客のために使われています。観光客が赤ちゃんライオンを抱きしめてハグを体験するためです。

彼らは人間への愛を感じ、人間になれ親しんでいるために、人間に対して敵対心を持ちません。そのような動物を狩猟して、最終的には戦利品としてライオンの頭を飾るといような非業を人類はしているのです。このように、神聖なる動物を使った

「隠れた業種」と言うべきものが存在しています。人間はこの地球で間違った行いをし続けてきて、そしてライオンを犠牲にしているのです。

では、白鳥監督のドキュメンタリー『ホワイトライオン』をご覧いただいて、その中で、地球の危機を救うための解決策についてもメッセージをお送りしたいと思います。

短編映画『ホワイトライオン〜人類へのラストメッセージ』

(監督：白鳥哲)

【内容概要】

生態系ピラミッドの上位に位置するライオン。

中でも白毛に覆われたホワイトライオンの保護活動をされているリンダ・タッカーさんの話を聞きながら地球の生態系の危機的状况についての解決策を探る。

そして、絶滅に向かっている多くの生物種の代表であるホワイトライオンが人類に対して送る最後のメッセージがこの映画に込められている。

《人類へ向けた最後のメッセージ》

「これは最後の警告なのです。」

予言では末期の時代を迎えたとき、人間が自分自身のバランスを取り戻せなかったならば、私たちは地球を破壊してしまうとあります。

最後の警告は聖なるホワイトライオンの存在です。彼らの存在そのものが最も高次な神聖なるソースからの祝福なのです。と同時に、彼らの存在はわたしたちが地球規模の大災害が起こりうる崖っぷちにいることを警告しています。

地球規模の気候変動は一つのヒントなのです。何がこの先、待ち受けているかの。

何故彼らが真っ白い毛に、青い目をしているか。

氷河期の動物だからです。気候が変化し、一瞬にして全てが凍ってしまうときがくるかもしれないことを提示しているのです。

でももし私たちが自身を取り戻せたら地球も自らを取り戻すことができます。

それが黄金の時代なのです。彼らは黄金の時代の守護神のシンボルでもあるのです。

私たちがしなければいけないことはとても単純なことなのです。自らのバランスを取り戻すことです。

自然に対しての愛と尊敬を思い出すのです。

そのように行動を起こすのです」

(メッセージ…リンダ・タッカー)

DVD 『地球蘇生プロジェクト〜短編映画集〜』に収録

(購入先) <http://officetetsushiratori.org/ca60/411014/p-r60-s/>

増川いづみ

太古の叡智が教え示す
“命を奪わぬ文化”の未来



増川いづみ

ますかわ いづみ

東京都生まれ。ミシガン州立大学で栄養学および電子工学の博士号を、MITで量子力学の修士号を取得。水への興味から始まり、生物分子学、マリンバイオロジー、地質学、発酵学、鉱物学、薬草学、古文献など、分野を超えた多岐にわたる研究に従事。近年は音による振動治療を応用したサウンド療法に集中し、人と地球の健康と生命のバランスをテーマにしている。テクノエーオーアジア代表取締役。著書『水は知的生命体である』（共著、風雲舎）、『これからの医療』『君が代』『大崩壊渦巻く [今ここ日本] で慧眼をもって生きる!』『古代のスピリットと共に《すべてを超えて》生きよう』『超微小生命体ソマチットと周波数』（共著、ヒカルランド）、『ウォーター・サウンド・イメージ』（監訳・解説、ヒカルランド）。

<http://www.tecnoao-asia.com> 電磁波（テクノ AO）

<http://www.flowforms.co.jp/> 水（フローフォーム）、ユニヴァーサルバランス
主宰

<http://www.lifetune.jp> 音（サウンドヒーリング）

増川 本当にすばらしいリンダ・タッカーさんのメッセージでしたね。初めて会ったときから、一晩中語り明かしました。日本に来たときも、自然の話、動物の話、そして混沌とした世界からどうすれば私たちが変われるか、どうすれば動物たちが幸せになれるかを話していると、すぐに夜中になって、朝になってしまふのです。今回のライオン・セレブレーションの目的は全て、白鳥監督の映画『ホワイトライオン』でリンダさんが語るメッセージに入っていますので、ぜひご覧になってください。私もずっと水の研究をしてきて、結局最後にたどり着いたのが“音”です。何とライオンはこのビデオにあったように、音から生まれたのだそうです。そして、ライオンは私たちの守護神であり、私たちに魂を与えてくれたというライオンシャーマン達に伝わる伝説が残っています。本当に今、私たちはホワイトライオンに何ができるか。それは私たちが全ての意識はつながっているという認識を新たにし、神聖な意識を取り戻して、彼らを一刻も早く救うこと。この命の痛みを豊かさに変えていく世界。これは本当に何かがおかしいということを私たちが気づくとき。

動物とは、動くもの。人間は動くものであり、動物も動くものです。そして私たちは同じ根源から生まれた生命です。動物を食べること、それから皮を使うこと。古代の人たちは動物の皮を使わなくても、木の皮や植物を使っていました。たくさんの草

や樹皮を使って洋服をつくり、履物をつくり、私たちの生活に使う必要なものは、動物の命を奪わなくても全て賄まかなえていました。

しかし、今や牛や羊たちが皮だけのために大量に殺されています。そして動物たちは、今や放牧どころか工場の中に詰め込まれています。この実態、このように命が物と同様に扱われ工業化されていくことを、どうして不思議と思わないのか。だんだんあらゆる生命に対して鈍感になってしまった人類の意識が闇の世界をうねっています。

私たち一人ひとりが自然に目覚めて、何かがおかしいと気づかねばならない。この「なぜ」という疑問や気づきが重要です。命を売り物にする、おもちゃのようにする、そして子どものライオンたちが、かわいい、かわいいとなでられて人間を慕ってきたら、今度は檻に入れて育て成長したら、インターネットで命を売って、薬で弱らせて狭い場所でハンティングさせる産業が拡大している（缶詰めハンティングと呼ばれる）。今ではホワイトライオンのハンバーガーを売り物にしようとする人たちがラスベガスにいて、何と食べてみたいという人がそのレストランに予約を入れたりしています。こんなにおぞましいことを人間はどうしてできるのか。

私たちは戦後の教育の中で、日本に限らず、世界中が大きな大きな闇の勢力にコントロールされてきました。その世界が私たちを暗い重い雲で覆っていますが、私たち

はもっと光に向かうべきです。私たち一人ひとりが個々の平和や調和を取り戻し、音に目覚め、自身の磁気波動を整えるときです。何が正しくて、何が正しくないのか。そして世の中のさまざまな情報の、何がどのように私たちを誘導しているのか。たくさんさんの情報があふれる今、私たちは一つひとつの選択、判断を正しく行い、そしてその正しい考えに基づいた行動が必要です。

先ほどリンダさんがライオンハートは愛とリスペクト（尊敬）と言いましたが、もう一つ必要なのは勇氣、そして情熱を伴った行動力です。勇氣や行動力を伴わずに、ただ情報を知っているだけの方がたくさんいます。こういう怖いことをたくさん知っていて、何もしないのでは世の中は変わりません。それを多くの人に伝える。何か小さなことでも行動を起こし、小さな渦から大きな渦へ。私たちがどんどん本来の根源の愛に目覚め、根源がつながっていることに目覚めるとき、真にハートの奥から自身を変え、周辺を変え、世界を変えることができると思います。

彼女は、「真のリーダーシップとは奉仕すること」と言いましたが、私たちの古代の天皇、スメラミコトは「シラシメス」ことが本当のリーダーシップだと言っています。「シラシメス」とは、統治をせず、調和で民を導いていくということです。その「シラシメス」心を持ち太古の命を持つ私たち日本人、一人ひとりが「シラシメス」。

一人ひとりが奉仕をし、一人ひとりが調和に目覚め、周りに愛を与えていくことで、その波が一気に広がり、調和に満ち満ちた大和の国が再びよみがえり、それが世界に共鳴波動を呼び起こし、地球の果てまでもつながっていくと信じています。

それでは、縄文の時代と関係する各国の画像を見ていただきます。

これは私がリンダさんやアメリカのスピリチュアルリーダーたちと一緒に行ったアダムスピラミッドのそばの世界最古のスフィンクスです（図1）。縄文につながっていると思います。アダムスピラミッドはこのスフィンクスの奥にあります。ここにあるのが最古のストーンヘンジなんです。

これが最古のストーンヘンジです（図2）。何かに見えませんか。なんかすごく懐かしい。三内丸山遺跡の近くにあるストーンヘンジよりも大きいですけれども、私たちがよく目にする世界各国のストーンヘンジよりも、本当に古くてすばらしい迫力でした。このそばで私はチューニングフォークを持って、ライオンシャーマン儀式に参加した皆さんをチューニングしたんです。パワフルでフラフラになってしまったという方もたくさんいました。

アダムスピラミッドはまさにテラス型ピラミッドで、日本のピラミッドに非常に似

ています(図3)。鋭角なピラミッドよりもこのようなピラミッドのほうが古く、エジプトのピラミッドはそんなに古くないということが考古学者の中で言われていて、グラハム・ハンコックさんも同様のことを言っていました。ただ、今になってこのピラミッドが古いとなると、ちょっと歴史の時代区分がおかしくなってしまう。今までの教育内容を逆さまにしないとだめなことがたくさん出てきてしまします。

実はマヤという時代も何度か繰り返されています。ポールシフトによって何回か消えたり、出てきたりしていて、実際にはマヤからエジプトに移ったという記録もたくさん出てきています。まだまだ発表されていない考古学上の発見が今、たくさん出てきていて、驚くべきことが現在進行形で各国の遺跡から発見されています。私がこの前、ある考古学者に会ったときにも、何と縄文土器そっくりなものがマヤのピラミッドから出てきていることがわかりました。まだ発表されていませんし、圧力がかかったり、騒ぎになるので発表する気がないと言っていました。

皆さんも見たことがあると思いますが、南極大陸でもピラミッドが見つかっています。氷河のピラミッド。そしてバミューダトライアングルではクリスタルのピラミッド(図4)。これはカーボンデイトで見ると大体5000億年ぐらい前ですね。こんなものを出してしまったら、人類が2〜3億年以上、存在していたということがわか

ってしまいます。クリスタルスカル（水晶の頭がい骨）も、年代は約9000億年たっているのです。でも、これらを年代測定してもニュースには出ません。メディアというのは、本当のことは言っではいけない。きょうはメディアの方がいらしているからよくわかっていると思います。実際は、マヤの遺跡から宇宙人の顔が出てきたり、UFOの顔が出てきたりしているのですが（図5）。

鳥型人間のアヌンナキというエンシェントピープルも、メソポタミアやロシア、いろいろな地域で世界中に出ています。アフリカでも似たものが発見されています。有名なアヌンナキ女性イナンナをはじめ、これがだんだん女神になって、太っていったりしています（図6）。

真ん中の右寄りにあるのは釈迦の入滅のときに悲しんでいた弟子たちの像の一つです。これはどう見ても人間ではないですよ。これは法隆寺にある有名な像なんですけれども、どう見ても宇宙人かカメ。

そして、右下は半魚人ですね。これも日本だけではなくて世界中にあります。だから私たちは、海の中に入ると懐かしい。波の中に入っていると何となく懐かしい。塩分が懐かしい。私たちの血液中の塩分濃度は海のそれと近似して、特に女性の子宮の中は海の塩分濃度とほとんど同じです。最近、たくさんケミカルをとっている方は

塩分濃度が高くなっていますけども、こういう像が世界中に残っているという事は、何かあります。全く事実がなくこのような像が残ることはないでしょう。人魚像も世界中に残っています。

そして、ここ八ヶ岳の地は有名な縄文中期の中心地の一つです。紀元前6000年から紀元前4500年ぐらいに、こんなふうにかくさんのものがつくられていました(図7)。これはみんな宇宙人に似ていませんか。この顔を見てください。これは長野県の尖石遺跡とがりいしから出土したものです。

これは埼玉県の馬室遺跡まむろのミミズクです。この顔はミミズクというよりは宇宙人です。すね。

この山梨県の遺跡から出てきた遺物はヤマネコ。猫族、南洋系です。もしかしてホワイトライオンがいたのかもしれない。獅子族系の宇宙人が山梨に飛来していたから、こういう猫の土偶も出ているのではないのでしょうか。これは偶然ではなく、必然です。すね。

これは群馬県ですけれども、ハートの形の土偶があるんです。縄文人がハートの意味を知っていたとしたらすごいすね。

そして、この縄文のビーナス。アフリカに行くと、こういうぶくぶくした人形がよ

くあるんですよね。これは先ほどのイナンナからの変形です。腰周りの肉のつき方がそっくりですね。何でこういう形を昔の方たちはつくったのか。今回、リンダさんを日本の古代遺跡にお連れしたんですけれども、縄文の土偶を初めて見て、「このアーテイステイックな形は一体何だろう」「懐かしい」とびっくりしていました。

そして、世界の土偶（図8）。エクアドルの土偶ですけれども、完全に宇宙人ですね（笑）。おもしろい顔をしています。宇宙人と爬虫類が一緒になっている。この三角顔、どこかで見ましたよね。さっきの尖石遺跡の三角顔と比較すると、そっくりですね。

ルーマニア、オーストラリアの土偶も先ほどのイナンナやアフリカの母神像と似ています。これはよく映画でも出てくるひよろつとした宇宙人、細長くて手が長いタイプの顔ですね。

何でこんな土偶が世界中で出るのでしょうか。これを見たとき、私は日本の土偶じゃないかなと思ったんです。海外のミュージアムでも時々こういうのがあって、元々は日本人が持っていて広がったのかも知れませんが、どうも焼き温度や土の質が違うということです。本当に世界各国に土偶は分布しています。

そして、縄文土器。縄文人がなぜ、香炉型土器をつくったのか（図9）。煮炊きす

るためではありません。これはセレモニー（儀式）用なんです。縄文人は儀式をするために、このような美しい香炉型土器、火焰土器とも言いますが、こういうものをつくった。ということは、スピリチュアル、精神性が高く、精神文化に目覚めていたということですよ。

私たちの祖先は、こんなに繊細で美しい模様の土器をつくっていたんですね。縄文土器というと、荒い縄目が有名ですが、深鉢形土器のようにこんなに繊細なものもつくっていた（図10）。トルコやエジプトから出土している繊細な器に匹敵いたします。かなり芸術性も高いものが発見されています。

そして、これを見てください（図11）。宇宙人ですよ。このようなとても美しいシンメトリーの形。ここにも宇宙人。これは人面ですね。取っ手つき深鉢。

火焰土器や水煙土器すいえんもすごく美しいです（図12・13）。本当によく見ていただきました。いす。

水紋と火紋というのは非常に似ていて、渦巻き。渦というのは宇宙エネルギーの源で、私たちのエネルギーの源です。回っているということ。サイクリングしている。この形が、命の、そして精神の循環に表れています。水と火、火と水。神の世界を火と水ミで表している。神とともにあった縄文人は、水と火をととても大事にしました。

そして古代、人間とライオンが密接だったことが、このスフィンクスでわかります(図14)。比率がおかしいですね。手がやたら大きいようです。王が自分の顔を入れたくなってしまうってスフィンクスの顔を削ってしまったのであって、本当はもっと大きい顔だったということがコンピュータのシュミレーションでわかりました。今、比率を計算すると、この手の大きさからいって、もとは完全に大きなライオンの顔だった。

右はグリフィンですね、羽のある人面のライオン。人間とライオンのミックスです。実は、古代から伝わる天皇家の本当の紋章はライオンとユニコーンなんです(図15)。ライオンの子供も12頭描かれています。

日本の太古の獅子はこちらです(図16)。シーサー。沖縄です。沖縄という国は、たくさん古い歴史が壊され、石垣が壊され、宮古島の海水の中にはアトランティスの跡。あるいは、まだ年代が特定されていませんが、大きなお城の跡がたくさん海の中に眠っています。

そして、獅子舞。何で私たちはおめでたいときに獅子舞をするのでしょうか。これもよくわかっていないのです。歌舞伎でも連獅子があります。狛犬も明らかに犬ではなくてライオンです。

世界中にホワイトビーイングの物語、神話、レジェンドが数多く残っています(図17)。白い動物達は、北のほうからだんだん南に押しやられていったようです。北のほうにも、ノースポールの端の北極圏で、ホワイトビーイングの骨の跡が出てきます。

ホワイトライオンはとてもかわいい目をしています。私がリンダさんの導きによりホワイトライオンに初めて出会った時は、心臓がとまるぐらいドキッとしました。本当に美しいブルーの目でした。光のかげんで違うんですけど、ブルーの目で見詰めるようにして、私たちと会話をしようとしています。テレパシーを送ろうとします。そして、瞑想と一緒にしたんですけれども、私たちは白い光、ゴールドの光に包まれました。30分ぐらい、3mほどしか離れていない至近距離でした。

私たちはこのホワイトライオンに導かれて、今、再び根源とつながろうとしています。もともと持っている愛、勇気、万物の命を尊ぶという自然とともに歩む大切な道を今すぐに取り戻さなければ、これから本当に大変なことになっていくという警告を、私はこれまでに会った全てのシャーマン、全てのメディスン・マンから言われています。私もリンダさんと同じようにたくさんさんのシャーマンからいろいろな警告を受けていますが、皆同様に、「今がラストチャンス」と訴えます。今こそ、目覚めゆく希望

のときと言われています。

このホワイトビーイングの意味を、私たちのハートでしっかりと受け取って、私たちが全てすっかり心を入れかえ、命と引きかえに豊かさや利益や自分のエゴの気持ちを拡大するのではなくて、どれだけ人のために、社会のために、地球のために、そして緑の美しい森のために、何ができるかをいま一度問い直すべきだと思います。